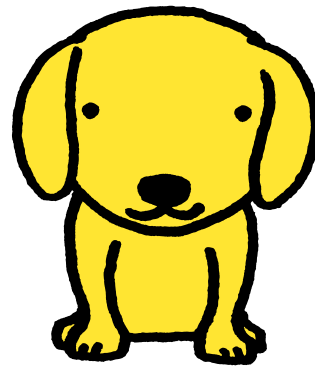


NEWS LETTER



NO.25

2006.9.15

にほんごひろば岡本

発行：にほんごひろば岡本

〒658-0003 神戸市東灘区本山中町 4-18-22

☎078-453-5931

<http://www.kabto-yama.ac.jp/hiroba/>

教えることは学ぶこと

まだまだ暑いのに少々気の早いことですが、もうあと〇〇カ月で年末、「クリスマス会」。「クリスマス会」は私がにほんごひろば岡本に参加して以来2年間、司会を務めさせて頂き印象深いイベントです。

私にとって初めてのクリスマス会で、会が終わったときベトナム人のラム君（当時私の生徒さんであったタンさんの息子さん）がわざわざ私の所に寄ってきて「先生、今日は有難うございました」と、お礼を言ってくれました。うれしかったと同時に、今の日本の子どもにこの言葉が自然に出るだろうか？と残念ながら疑問に思ったことを覚えています。また、今年のスピーチ大会でベストに選ばれたタイ人のラーワンさんの親孝行の話。何か日本人の私たちが忘れていたものを、ここ「にほんごひろば岡本」で見つけたような気がしました。

このように私にとっては待ち遠しい「クリスマス会」なのですが、去年は色んな国の人々の宗教に配慮するという事で名称が「年忘れお楽しみ会」ということになりました。確かに色んな国々の学習者に接する我々としては考えねばならない問題であると思います。しかし一方、日本では宗教に関係なく正月（神道）、お盆（仏教）クリスマス（キリスト教）などの行事が行われていることを説明して（宗教に寛容な？）日本人の習慣を理解してもらうのも必要なのではないのでしょうか。

最近特にアジア外交のことが新聞、TV等で取り上げられますが、政府間での交渉が大切なことは勿論、我々庶民レベルでお互いの文化や生活がもっと理解できればよりいいことです。

言葉は文化だといわれます。言葉の学習を通じて日本のことを良く知ってもらう、また我々も相手の国の習慣、文化を学ぶ。そのためには（前号にも述べられていたように）ときにはタブーを犯して政治、宗教など幅広い話題に触れてもいいのではないのでしょうか。特にアジア近隣諸国からの学習者の多いにほんごひろば岡本はそれを実践できる恰好の場所だと思っています。

私も今更ながらですが日本の文化、伝統の良きこと、悪しきことを謙虚に勉強したいと思っています（最近外交問題にからめてやたらと出ている日本の文化、伝統の見直し論に影響されたわけではありません・・・念のため）。

「教えることは学ぶこと」とは言い古された言葉ですが、にほんごひろば岡本に参加させていただいて以来、私の実感です。（宮武寿美雄）

特別寄稿**日本ごひろば岡本のボランティアのみなさんへ**

本山第二小学校国際教室担当 村山勇

最近、外国からやってきて日本語指導を必要とする子どもたちが増えてきています。そういう子どもたちは、公立学校だけでなく地域の民間ボランティア教室にも参加しています。どちらも子どもたちの成長を支援していくので、互いに連携していくことが大切だと思います。私が小学校で日本語指導を12年間担当している中から、ボランティアのみなさんにお願いしたいことを書きます。

(1) 親は、どこから、どうして来て、どんな生活なのかを知りましょう。

社会状況の変化や法律の改定により、外国から日本へ来て定住する人たちが増えてきています。分類すると、大体以下のようになります。

どこから	どんな理由	言語	生活など
ブラジル	日系三世までと その子ども	ポルトガル語	派遣社員、長時間労働、 転居し勝ち
ペルー	日系三世までと その子ども	スペイン語	派遣社員、長時間労働、 転居し勝ち
中国	残留孤児・夫人の 三世・四世家族	中国語	
フィリピン	母親が日本の男性と再婚、母の 連れ子として来る	タガログ語	教会に集う
ベトナム	難民・呼び寄せ	ベトナム語	教会に集う
アジア等各国	留学生・ビジネスマン	各国語	滞在期間限定、母国と同程度 の学力を期待

いずれも日本語の壁があり、決して楽な生活ではありません。

(2) 子どもたちの実態を知りましょう。

どの子も新しい環境にとまどい大きなストレスをもっています。南米からの子どもたちの中には、母国にいる時、親は既に「日本へ出稼ぎ」に行き、おばあちゃん子で育った。日本へ呼び寄せられても親は長時間労働でかまってもらえないという子もいます。フィリピンから来て、新しい日本の家族になじめず孤立感を深めている子どももいます。出身国にかかわらず親は母国語でしかしゃべれないし、子どもは日本語の方が強くなって親に相談できなくなっている場合もあります。不就学、不登校も発生しています。高校進学はかなり難しいです。夜間定時制へ進学しても不本意進学のため中退という例もあります。「あなたも大変だね。でもせっかく日本へ来たのだから、楽しいことを見つけていこうよ。」と共感し、前向きに生きるよう励まして欲しいです。

(3) 担当の子どもやその国のことを知って、好きになり、紹介しましょう。

知ることにより偏見や差別も減ります。

- ・ **子どもの生育歴を知り、日本人と過ごす適応指導に活かしましょう。** 宗教的信仰心の篤い子どもには、怠けている時に「神様が見ていますよ」と言うのは効果があります。また体の接触の許容度が日本人とは異なる子どももいます。日本の子どもは、べたべたとしてくるとかチューしてくるとか、びっくりする場合があります。習慣の違いを説明しましょう。日本人から見る

と、言い訳が多いなあと感じる子どももいます。これは、言い訳をするのが固有の文化と言う場合も多いです。ぜひじっくりと聞いてあげてください。その上で誤解があれば指導してください。メモを取らない子もいます。形式的なメモを取らずにしっかり頭に覚えるという習慣の子もいます。それはそういう文化だということに認めてあげて欲しいです。このように日本へ来ていろいろなことを発見していると思います。それらを子どもから聞き出し、子どもと協力して「日本と母国の違いを紹介する新聞」を作ってください。

- ・ **子どもの学習歴や学習内容を知り、指導に活かしましょう。** 小学校が何歳の何月から始まるのか、何学期制なのか、長期休みはいつか、何年生までであるのか、卒業後はどうなるか等は国によって、かなり異なります。また行っていた学校が公立校か私立校かでも異なります。インターネットで調べたり子どもから聞き出したりしてみましょう。学習の進度は日本の算数を基準にするとよいでしょう。日本の算数の教科書の計算問題がどのあたりまで解けるかで大体の力を見ることができます。

しかし、内容では異なる場合も多いです。買い物をしたら、お釣りは足し算で出す国が結構あります。

また掛け算九九を半分しか言わない国、 13×13 まで覚える国、割り算の筆算の書き方が日本とは異なる国もあります。初めは母国のやり方を認めながら、徐々に日本のやり方もできるように支援していきましょう。

ブラジルの割り算

$$816 \div 48 =$$

816	48
336	17
8	

- ・ **子どもの母語を知り学びましょう。** その言語の基礎を学ぶと、
- ・ 子どもが母語による干渉を受けて、日本語学習でミスをする理由が分かります。以後は、そのことについて注意していけばよいでしょう。
- ・ **その国のことを調べましょう。** その子の国や町のホームページを見て、山、川、都市、特産物等を書き込んだ紹介地図やパンフレットを作りましょう。子どもが母国での遠足で行った思い出の遊園地や遺跡を紹介するのもいいですね。またその国の民話を絵と文で紹介しましょう。日本の民話も教えて、共通点や相違点を発見するのもいいですね。これらの活動は子どもたちとよく話し合っ、パソコンもできるだけ子どもたちが使えるようにして、いっしょに協力するといいですね。

(4) 隣人として交流しましょう。

子どもたちが困っていることの一つに、遠足のお弁当があります。日本のような色取りの良いお弁当の作り方を知りたがっています。一方では、母国の料理を教えたいと思っています。浴衣を一度着たいと思っていますし、母国の服を日本の人に着せてあげたいとも思っています。また家庭ごみの出し方に悩んでいます。母国で育てていたオクラを日本でも育てたいと思っているフィリピンの子もいます。このようなことをきっかけとして、互いに教えあい支えあう暖かい隣人関係を築いていってほしいものです。

さて肝心の日本語指導や教科指導については、次回のお楽しみということにさせていただきます。

※次号もよろしくお願ひします。村山先生のお写真（手前の黒いセーター姿）、今回は残念ながら横顔ですが、次号すてきな写真を用意します。お楽しみに。



しえんしゃ がくしゅうしゃしょうかい
支援者・学習者紹介

★所 りかさん

蔣 雲在さん (韓国出身・男性)

自称 イケメン・・いいひと?

「所さん、ご自分と学習者のかたの紹介文を書いていただけますか」と依頼されたのは、先週の土曜日でした。うう、ついに来たのですね。私の番



が……。実は、私は自己紹介がとても苦手なんです。それが会報に載るなんて、考えただけで緊張します。ですから今回はお

もに、学習者の蔣 雲在 (じゃん うんざえ) さんのご紹介をしたいと思います。「次の『NEWS LETTER』に、私が蔣さんの紹介文を書くことになったよ。なんて書いたらいいかな?」と相談すると、笑いながら「今まで会った外国のひとの中でも、いちばんイケメン・・いえ、いいひとだって書いてください。」ですって。了解!

蔣さんは神戸大学海事科学部の留学生で、今年の3月、日本に来ました。彼の故郷は、韓国の木浦 (モッポ) です。明石のようにタコで有名な海辺の町だそうで、蔣さんが船のことを専門に勉強するようになったのも、そんな故郷が大好きだからだと思います。

船のことばかりでなく経営学なども勉強している蔣さんは、難しそうな本も日本語で読んでしまうほど頭のいい努力家。先ほどの会話からもわかるとおりとても明るくて、いつも笑顔を絶やさないひとです。特に船の話をするときはとても楽しそうです。いっしょに日本語を学習しているというよりは、私のほうが毎回いろいろなことを教

えてもらっています。

今年ボランティアを始めたばかりの私が何とか続けてこられたのは、ひろばや学校で出会えたみなさんや、蔣さんのおかげだと思います。今まで気づかなかったたくさんのことについて考える機会を与えてもらって、とても感謝しています。

もっと学習のお手伝いができるよう勉強して、少しでもそのお返しができたら嬉しいです。そして来年2月、蔣さんが韓国に帰る時、日本ってなかなか楽しい国だったな、って思ってもらえたらいいな。

未熟な私を、今後ともどうぞよろしくお願い致します。

★吉岡恵子さん

カルティカさん (インドネシア出身・男性)

母国思いのナイスガイ

今年の1月から一緒に日本語を勉強しているカルティカさんをご紹介します。

インドネシア出身、現在は神戸大学海事科学部で学ぶ 25 歳のナイスガイです。何事にもとても熱心で、去年の 10 月に来日した時には、すでに『みんなの日本語』

の初級はマスターしていて、今は中級レベルの文法を中心に勉強中です。



今年、母国インドネシアで起こった大地震の支援活動の一環として、7月に留学生を中心としたチャリティーイベントが行われました。彼はそのリーダーとして大活躍しました。

そんな優秀な彼の日本語学習支援のお手伝いをしている私、吉岡恵子の自己紹介を少々。

団塊の世代、O型のふたご座。家族は主人が一人？と息子が3人、長男と二男は一昨年結婚し、それぞれ1歳半、0歳の子どもがいます。つまり、孫が2人です。三男は高校2年生です。

私が「にほんご」と出会ったのは、もう30年以上も前のことです。当時「日本語教師」という言葉すら耳慣れない頃、ふとしたことで「留学生に日本語を教えて欲しい」と頼まれ、手探りでテキストを見ながら悪戦苦闘しました。これではいけない！と思い、YMCAの講座を受講したり、文部省の「国立国語研究所」主催の講習会に参加したりしていました。しかしその間子育てに専念して、「にほんご」の世界のことは忘れかけていました。

「にほんごひろば岡本」で支援者を募集しているとの情報を友人の小澤さんからいただいたのをきっかけにして、サンクス（NPO法人実用日本語教育推進協会）の講習会を受け、30年前の気持ちを思い起こさせてくれ、「にほんごを教える」ということの大変さを知りました。

そんなわけで、目下初心者マークでがんばっています。少しでもみなさんのお役に立てれば！の気持ちです。これからもどうぞよろしくお願ひします。

がくしゅうしゃしょうかい 学習者紹介

★ラッタナさん（タイ出身・女性）

夢はパン屋さん開業！

私が初めてラッタナさんと出会ったのは、2005年3月でした。

「にほんごひろば岡本」に来る前、2年間タイで休みの日には日本語を習いに行っていたというだけあって、初日から問題なく今日まで一緒に勉強してきました。

ラッタナさんは、2002年4月に来日してP&Gで働くキャリアウーマンです。しょっちゅう出張で、

タイ、中国、ベトナム、インド、アメリカへと飛びまわっています。



つつい
私は「ラッタナさん、次はどこ？えっ！！インドに1カ月！？毎日カレーが

食べられていいなあ～」なんて言ってしまいますが、仕事となると大変ですよ。ご苦労さまです。

私とラッタナさんにはもう一つ共通点があり、パン作りに夢中なのです。実は、同じ先生のところでパンを習っています。残念ながらクラスは別々ですが、先生から「日本語全く問題ないよ」とか「ラッタナさんからカレーをもらっておいしかったよ」とか聞くと、自分のことのようにうれしいです。

職場やひろばを飛び出して、友達の輪が広がって、国際交流ができるのは本当に素晴らしい機会だと思います。何よりも、ラッタナさんの前向きに挑戦する志があるからこそ道が開けるのです。

ラッタナさん！いつか世界一おいしいパン屋さんを開きましょうね！（堀 かおる）

【もう一つ、トピックを！】

7月にニューヨークに行ってきました。せっかくのニューヨークということで、グレッグさんに会ってきました！

グレッグさんは2年半前に帰国しましたが、外見は全く変わりなく日本語も相変わらず流暢で、久しぶりに会った気がしませんでした。

ただ、一つ大きく変わったのは、グレッグさんはパパになっていました！ニューヨークに住んでいながら日本語が上手いのも奥さんが日本人で、家では英語と日本語半々なんだそうです。この2年半の間、奥さんとかわいい子供に恵まれて充実した生活を送っていたのが伝わってきま

した。子供をとてまかわいがっていて、親ばか！？ではなく、子煩悩なパパになっていました。

グレッグさんと過ごしたのは数時間でしたが、チャイナタウンやセントラルパークを案内してもらい、とても楽しいニューヨークの旅になりました。

グレッグさんのホームページに子供の写真も載っているようなので、かわいいグレッグ Jr. を見て下さいね。(8 ページに紹介しています)



★光行 タチアナさん (キルギス出身・女性)

皆勤賞めざす頑張り屋

私のはじめてターニャ (タチアナ) さんに出会ったのは今から1年半くらい前です。日本人のご主人と間もなく2歳になるデニスさんと3人で「ひろば」に来た時、目のクリクリな赤ちゃんを見て、あまりのかわいさに「だっこさせて」と言ったような記憶があります。



ターニャさんはキルギスから来たロシア美人です。今は子育ての真っ最中ですが、この暑い夏にも1回も休まず勉強をしました。私用で9月に2回休むことを伝えると、「どうしてですか」と口をとがらせて聞かれ、なぜか不思議と嬉しく思いました。はじめの頃に比べると、とてもよく話せるようになり、1時間半が雑談で終わりそうになる時もあります。あわてて勉強、勉強と言って、話をもどすこともしばしばです。やはり言葉は継続です。そんな訳で「ひろば」に皆勤賞があったなら、是非あげたいものです。

私はこれまで学習支援をしていて色々なカッ

プルに出会いました。ターニャさんがここまで続けられるのは本人の努力ももちろんですが、御主人の両親のサポートなしでは考えられなかったと思います。とかく国際結婚は難しいと言われますが、お互いの家族と仲良くして、ターニャさんご夫婦はとても幸せなカップルです。これからも、皆勤賞めざして頑張ってくださいね。(市川邦子)

学習者のひろば



初めての富士山 登山日記

朴 ジョンイル (韓国出身)

2006年8月11日、午後9時20分の夜行バスに乗って富士山に出発しました。

バスの中で寝ながら行きました。

朝、6時30分ぐらいに富士山の下にとうちゃくしました。よあけですから、朝のくうきはすずしかったです。

バスを降りて じんじゃに行きました。じんじゃの入口はあか色でした。それからとてもおおいかったです。ひともたくさんいました。じんじゃで とざんのぶじをいのりました。そのあと バスに乗って富士山のごごうめ (五合目) まで行きました。



くもがしたにあってふしぎでした。ここまでよく来たなと思いました。

あたまも あまりいたくないし、きぶんもよかったです。

ここでごはんをたべて、ちょっとやすみました。いっこう(一行)としゃしんもとりました。



11時20分からとざんをはじめました。てんきもよくてたのし

くのぼりました。でも、とちゅうからくもがたくさんあって しゅうへんのけしきが見えなくなり ざんねんでした。3200メートルぐらいでした。あめがふりはじめました。それで ちかくのトイレにはいりました。しずかで そとに出てみたら、しよかったです。ひょう(雹)でした。なつですから、ゆき(雪)がなくてさびしかったです。ひょうがふって たのしかったです。3400メートルぐらいで しゅくしゃ(宿舎)がありました。時間は4時ぐらいでした。

あめがふったあとで くもがぜんぜんなかったの で けしきがひとめで はいってきました。ほんとうに きれいでした。ごはんはカレーライスでした。ひるごはんよりおいしかったです。

くうきがすくなくなってきたので あたまがちょっといたかったです。

みんな たいへんだったとおもいました。つかれましたから、はやくねました。

よる 10時、また山をのぼりはじめました。ヘッドライトのひかりで みちをてらしながらのぼりました。おちるほし(流れ星?)もみました。

山のいちばんうえまで300メートルぐらいのこして、いはたせんせいのごしゅじんは、ガイ

ドさんがむりだとかんがえて、ここからげざんしてくださいといわれました。おわりまでいっしょに行きたかったの で、とてもざんねんでした。

300メートルぐらいを3時間かかっ てのぼりました。おわりはやまがとてもけわしくてたいへんでした。

4時40分ぐらい、ようやくやまのいちばんうえ(頂上)へ とうちゃくしました。いちばんうえはもうひとがたくさいいました。みんなうれしそうでした。

ひがあかるくなっ てきて しゅうへんのけしきが見えました。とてもきれいでした。でも、すぐさむくなっ てきて あわててみせのなかにはいりました。

富士山のゆきは「まんねんゆき」だとして いましたが、いちばんうえにちょっとしかありませんでした。

日の出のじかんは4時45分でした。しかし くもがおおくてあさひはみれないとおもいました。すこし げざん(下山)したとき、うしろでかんせい(歓声)がきこえました。そらを見たら、くものあいだに あさひがみえました。とてもきれいで うれしかったです。



たいへんなことが ぜんぶなくなりました。げざんはとてもはやかったです。3時間ぐらいしかかかりませんでした。げざんのあと おんせんに行きました。きもちがよかったです。ごはんとビールをのみました。きもちよく かえりました。

かえるとき いろいろなことをかんがえましました。やまは私がきたい (期待) していたほどよくなかったけど、やまをのぼりながらおおくのことをかんがえたり、にどとできないよいけいけん (経験) ができてとてもよかったです。でも、たいへんすぎて、にどと (二度と) 行きたくないです。



※朴さんに登山記の依頼をしたところ、次の週にはレポート用紙 4 枚も書いてきてくれました。何と 4 時間もかかったそうです。にほんごを始めてまだ、3 カ月なので、ひらがなが殆んどですが、彼の原稿どおり載せています。 所々漢字で補いました。

OBのひろば



グレッグさんからの手紙

Here are various photos of [our](#) baby Alexander Kaito (海斗) Benson. I find looking at other people's baby photos to be extremely



boring. This section is for people who are not like me. The first few pictures are ones you might have seen already in the News section.

西村先生、久しぶりですね。お元気ですか？ 日本語ひろば達も元気でしょうか？

ここは皆が元気です。あまり変わったこと無いですが、毎日赤ちゃんの世話しています。新しい写



真をアップしました：

<http://gnbenson.com/akb-photos.html>

2カ月前に家族と一緒に関西に行きました。残念ながら時間が足りなく「ひろば」に訪問できませんでした。すみません！じゃまた！グレッグ
デニーさんからの手紙



今日はアメリカの独立記念日でサンディエゴのシーワールドに遊びに来ました。イアンはもう 1 歳を過ぎて、とても大きくなりました。10 カ月頃から歩き始めたので、今は走り回っています。市川先生はお元気ですか？

みんなのひろば

◆七夕会 2006年7月1日



ひろばオープンハウスとしての七夕会も3回目を迎え、恒例行事の一つになろうとしています。今年も新しい支援者との交流会も兼ねることができ、楽しいひとときが過ごせました。

昨年同様、七夕飾りを折り紙で作り、短冊

に筆で願い事を書きました。書かれた願い事は、さまざまに「家内安全」から「結婚したい！お金持ちになりたい！」までありました。中には大好きな漢詩を書いてくれた学習者もいて、次の学習日に解説をしてもらい、中国の歴史の重みを感じました。



七夕会一番人気の「ゆかた」も初めて着る学習者が多く、特に下駄にはとても苦労していました。



「お抹茶体験」も所作やあいさつなどにびっくりしたり、とまどいながら、ちょっと苦い初めての味を楽しんでいましたよ。



◆「にほんごひろば岡本」総会報告

第 7 回総会議事録

開催日時：2006年6月3日（土）午後1時～3時

開催場所：にほんごひろば岡本

- 議 案：第1号議案…2005年度活動報告
第2号議案…2005年度収支報告
第3号議案…2006年度活動方針（案）
第4号議案…2006年度予算（案）
第5号議案…2006年度役員改選（案）



総会設立要件：登録者総数 41名

出席者数 14名

委任状 20名

※規約により、過半数以上を満たしているため、本総会は成立しました。

議 長：黒岩元晴氏

《議 事》

第1号議案…2005年度活動報告に関する承認の件

議長の指示に基づき、西村代表から、配布資料に基づき、説明がありました。
補足説明としては、

- NEWS LETTER を各号 12 頁構成で 3 回発行した。
- 12 月の年忘れお楽しみ会（クリスマス会改め）のスピーチ大会を「佐古田幹子杯」とし、出場者に奨学金を、最優秀賞者には記念の盾を授与した。
- 日本語学習支援者ステップアップ講座は計 5 回実施され、最終日には支援者交流会を開いた。
- ひろばの支援者が故郷で支援している「おのみち日本語教室」での研修会・交流会に参加した。

第2号議案…2005年度収支報告に関する承認の件

議長の指示に基づき、西村代表から、配布資料に基づき、説明がありました。
特に教材について充実してきているので、聴解のCDなどどんどん活用すべき、という意見が出ました。

収支について会計監査報告を会計監査の黒岩氏と竹中氏にお願いしました。帳簿書類等を監査の結果、適正かつ正確に処理されていると認められました。

第3号議案…2006年度活動方針（案）に関する承認の件

議長の指示に基づき、西村代表から、配布資料に基づき、基本方針に加えて学習者

との異文化交流のみならず、支援者等の異世代間の交流のできる場でもありたい、また、日本語学習の枠にとらわれず、より広い視野に立った支援活動を目指したい説明がありました。

補足説明としては、

- 活動内容について、8月5日に支援者交流会を予定している。
- ステップアップ講座は土曜日の午後、連続で行うと負担が大きいため、月1回のペースなどを検討している。
- 聴解CDなどをもっと活用できるように、CDプレーヤーの購入も検討している。

第4号議案…2006年度予算（案）に関する承認の件

議長の指示に基づき、西村代表から、配布資料に基づき、説明がありました。

第5号議案…2006年度役員改選（案）に関する承認の件

議長の指示に基づき、西村代表から、配布資料に基づき、説明がありました。

今年度は副代表に下田先生、宮武さん、会計に坂本さん、会計監査に市川さん、黒岩さん、運営委員には三木さん、小澤さん、吉岡さん、中川さん、木山さんに加わっていただき、新しい人たちの力も借りて幅広い運営が期待できると思います。また、学習者代表として成ユチャンさんにもお願いしました。

今年度の役員並びに運営委員は次の方々となります。

代表：西村佳子

副代表：下田美津子 宮武寿美雄

会計：坂本喬子

会計監査：黒岩元晴 市川邦子

運営委員：橋本桂子 松見和代 吉田加代子 古瀬尚子 井畑真理子 渡辺映子

三木知津子 小澤恭子 吉岡恵子 中川代利子 木山和子

学習者代表・成ユチャン（敬称略）

以上のような補足説明の後、第1号議案から第6号議案まで議場に諮（はか）った結果、特に異議なく拍手多数をもって原案通り承認されました。

以上をもちまして、本総会の議事はすべて終了しました。

※ひろばのいろいろなイベントのお知らせを黒板や通路に貼っておきますので、注意してみてください。また、学習者にもその都度説明してください。ご協力お願いいたします。



■お知らせ■

●バーベキューパーティー

10月7日（土曜日）芦屋奥池遊びの広場
詳しくはひろばの黒板を見てください。

●年忘れお楽しみ会・にほんごスピーチ大会（予定）

12月17日（日曜日）にほんごひろば岡本

●ひろばの冬休み

2006年12月23日（土曜日）～2007年1月10日（水曜日）まで、ひろばはお休みです。

CONTENTS

★特別寄稿 にほんごひろば岡本のボランティアのみなさんへ 村山勇先生……………2

★支援者・学習者紹介……………4

所りかさん・蔣 雲在さん
吉岡恵子さん・カルティカさん

★学習者紹介……………5

ラッタナさん
タチアナさん

★学習者のひろば……………6

初めての富士山 登山日記 朴ジョンイル

★OBのひろば……………8

グレッグさんからの手紙
デニーさんからの手紙

★みんなのひろば……………9

七夕会
総会報告

★お知らせ……………12

バーベキューパーティー
年忘れお楽しみ会・にほんごスピーチ大会
ひろばの冬休み



〔編集後記〕

今号は「兵庫ボランティアネットワーク」の村山勇先生からとても有意義なお話をいただきました。子どものみならず、大人との異文化交流において大切なアドバイスだと感じます。次号に具体的なお話を約束していただきました。これから、ひろばは恒例のイベントが続きます。みなさん、楽しみにしておいてくださいね。(I・M)